

令和7年度第4回千曲市教育委員会定例会会議録

1 日 時

令和7年7月30日（水）午前9時から午前10時まで

2 場 所

千曲市役所 302会議室

3 会議日程

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 提出議案
- 4 報告事項
- 5 その他
- 6 閉会

4 議 題

○提出議案

議案第11号 千曲市水辺の楽校運営委員会委員の委嘱について

○報告事項

報告第13号 教育長、部・課長報告について
報告第14号 行事の共催・後援について
報告第15号 8月の各課の行事予定について

5 その他

- (1) 次回定例会の開催について
- (2) その他

6 出席者

○委 員

小松信美教育長

中村洋一職務代理者 松田祐子委員（欠席） 新海敦子委員 若林直美委員 吉味淳委員

○教育委員会担当部局

吉池こども・教育部長、山崎こども未来担当部長（こども未来課長事務取扱い）、小林教育総務課長、湯原生涯学習課長、久保第一学校給食センター所長、松峯第二学校給食センター所長、相沢保育課長、若林主幹兼総務係長、北沢総務係主査

1 開会 こども・教育部長

2 教育長あいさつ 教育長

3 提出議案

【議案第 11 号】 議案第 11 号 千曲市水辺の楽校運営委員会委員の委嘱について

—資料に基づき説明—（生涯学習課長説明）

教育長 今の水辺の楽校の箇所は、国交省では修理しないのか。
生涯学習課長 遊水地との関係もあるので、千曲川河川事務所、関係課（道路河川課、都市計画課）と検討していく。
教育長 どういう方向になるのか、運営していくにも大事なことになるので、今後の方向性について情報共有をお願いします。
<承認>

4 報告事項

【報告第 13 号】 教育長、部・課長報告について

委員 教育長分について、教育長説明
先ほどの学力向上推進委員会の話で全国学調のやり方が変わったという点で話がありました。私の専門分野で CAT というのですが、問題が違うのです。それが日本の教育文化の中に本当に入らなくて、外からきている TOFEL という英語試験があるのですが、TOFEL の試験を問題が違うという事を二十年前に行おうとしたら日本に弾かれてしまい全世界でやめたのです。要するに日本の教育文化の中では今までのテスト方式とは問題が違うという事を理解できないという事があり、今後も CAT 化には色々な問題が伴う事と理解を得るのが難しいと思っているのでその点をご検討いただけたらと思います。二十年間、勉強会を行ってきましたが、簡単に言うと視力検査なのです。視力検査とは例えば 0.2 見えたら次の 0.3 を指しますよね。「0.3 見えたら 0.5 が見えますか?」、「見えない。」と答えたら 0.4 に戻る。これを行ったり来たりですよね。それが視力検査には文句を言う人はいませんが、テスト問題が違ふと文句がでますよね。鉛筆転がしても自分の点数とかいう事が日本の教育文化にもあるのですが欧米では項目応答理論という理論があつて、指数関数を使った確率論があり、確率論で言うとなんかそういうのがうまくいくという事を基にして、理科で初めて応用されましたが市販の英語のテストとかではそうなっているのです。だから、カンニングも出来ないのですよ。席でタブレット使っていても隣は別の問題を行っている。要するに 1.0 が見えない人に 0.8 を見せても見えないわけがない。1.0 の人に 1.1 を見せたら見える可能性があるのですが配慮が必要ですが 1.0 が見えない人に 1.5 の小さい文字を見せないのです。そうやって収束していき能力がここだという理屈があるのですが、視力検査には文句が言えないでしょう。視力検査はいつどこで受けても病気でもない限りそこまで変わらないじゃないですかと言う理屈なのですが、それが教育的になると理解できない。という事もあり今後難しく思っておりますが、英語の世界ではおそらく確立されていると思います。ですから可能性として、次に導入されるのは英語だと思います。英語のテストの方が理科よりはやりやすかったのですが、このような結果が出ていると日本では数字を単純比較したがりません。ただ、そういう問題でもなくテストのデータの分析の方法も今後取り組んでいただけたらと思いました。
教育長 そうなると今まで一律に千曲市の小中学生の国語・算数・数学の学力は県と同等とか日本平均と同等という文言とかを周知してきました。しかし、タブレットやコンピューターで個々の問題が変わってきた時に果たして、それが今まで

委員 どれより通用するのか？同等に扱って良いものか？その辺りはどうですか？
例えば視力検査では素点と比べて、0.1 や 0.5 違うとか言う事が比較できるのです。統計的にそれを理解できるかという問題です。同じ問題を行えば公平だけど問題が違うから不公平ではないかという考え方もありますがこの問題がわからない人にさらに難しい問題を与えても正確な評価は出ないです。これが統計的に処理できるのかという事が理解できるかどうかの結果の解釈の仕方です。という事になります。

教育長 結果を今までと同じような文言でいいのかその辺りも変わってくるかもしれない。どのように周知すればいいのかということを含め、また、研究していきたい。

委員 今、中村先生が話した事について、実際に私も先日参加した別のところで色々な事を含めた学習会に行った時に今、中村先生が話したとおりにやはり課題となってピックアップされていました。突き詰めていくと、例えば高校入試を取った時にそれが果たして、何十年も長野県の事だけを言えば長野県でやってきていた一律側の入試内容が子供たちにとってどうなのか？と引っかかってくると思うのでそろそろ子供たちの絶対評価を言われて、久しいのですが実は蓋を開けてみると絶対評価にはなっていなかったのでは？とそここのところを突き詰めて、少しずつでも子供の状況を見ながら考えていかななくてはならない時期に来ているのでは？と私自身も思っていた七月でした。

委員 特別支援教育推進委員の県の先生の訪問があった件なのですが、今インクルシブ教育とか色々な事が言われている時代ですが支援学級等が増加し続けている状況でどこの市町村でもあると思うのですがその事について、県の見解や今後の方向性とかについて何かお話があったようでしたら教えて頂きたい。

教育長 県はこれから明確にこれを行うようなものではありませんが、ただ学級が特別支援学級とかそういうものが増えているのは事実であります。県の方向としては、通級指導教室、こっちの方に段々シフトしていくのではと感じはいたします。そういう方向で動いているかもしれません。

委員 今、入級の判断を頂いても、結局蓋を開けてみると通級の形になっている子供たちが現実的に結構いるので実質考えた時に今までの入級よりは通級という形で子供達を救っていく事の方がやはりこれからを考えれば個人的には思います。

教育長 通級の形に移行したいのではないかと感じています。

委員 千曲坂城クラブの活動視察があった件ですが歴史科学専門部を見学した話の中で七月に入ってから歴史館の方で歴史科学専門部の子供たちとそれから小学生に声を掛けて頂いて、土偶、埴輪作りをして、勾玉作りや秋には北信の方へ歴史探検に行くような事で小学生にも声を掛けて頂き、とても良かった。そして、クラブのお兄さん、お姉さんがとてもよく関わってくださった話を小学生から聞いて、そういうふう小学生を巻き込みながら地域の学習の方で本当に地域クラブの意味が大きくなっていくのかと思いました。

教育長 歴史科学専門部の方でも色々な仕掛けを考えて頂いているのだという感じはします。課題はいっぱいありますが、今の大きな課題は吹奏楽専門部の事が大きく、全国でも大変大きな問題になっていて、楽器ごとに練習する部屋を用意しなければならない。指導者を用意しなければならない。という大きな課題があります。場所がないので急ぎょ学校を利用しなければならない。それならば学校の戸締りは誰がするのか。たくさんの部屋を使うとなると普通教室を確保しなければならない。そうするとセキュリティの問題が課題となってくる。また、指導者が足りない。一つ目、学校のセキュリティをどうするか。二つ目、指導者をどうするか。市の方でも今、戸上中学校が会場になっているのですが、こちら辺をどうするか。

教育総務課長 今のところ、戸上中の先生が指導者登録して対応していただいています。その先生が退職や異動等をされてしまった時にどうするか。国の補助金を使って施設の整備がありますが、文化部系は対象外なので整備が難しい。

教育長 千曲市の学校は、警備会社のセキュリティが入っていて、それを解除すると他の教室とかも全て解除になってしまいますので、何か別系統で設置を行う必要があるのかと。

教育総務課長 警備会社とも相談していて、校長室や職員室などに入れないように一部解除が可能かなど相談しているところです。

教育長 今一番、文化部の中で吹奏楽班が一番大きな課題になっています。

委員 実際、学校で戸上中のお子さんはいいいと思いますが、埴生中や西中とか具体的に課題、特に吹奏楽部とかにありますか？

教育総務課長 吹奏楽専門部は戸上中、埴生中の2か所で行っています。戸上中で行う場合は、戸上中以外の生徒は保護者の送迎が必要になります。

教育長 19 市の教育長会議でもこの間の郡市の七団体の会議でもありましたが部活の関係で県からは補助金は何もきていないのです。文部科学省の方から実証授業のための補助金はあるのですが、県から何も補助がこないの「なんとかしてほしい。」とお願いしていますが、今まで部活の指導者が県から入った旅費の予算が不要になりますので、その分を県の補助として、クラブに充ててもらえればという事で県には伝えているのですが、どうなるか。よい方向いけばいいなと思っております。

委員 今、文化部の話にもあったのですが色々取り組んで頂いている努力に敬意を表しながらですが中体連の関係者と話をし、今日の新聞にも記載されていましたが大会をやって引率生徒がいらないけど大会役員で行っていて、それは校務なのか？校務ではないのか？という問題があったのですが宙に浮いてしまい。例えば野球の審判をやっていて、審判が熱中症で倒れてしまい、公務とかにはならないとかという問題が解決できずに同じことが現場でも起こっていて、どこまでが先生の立場としての校務なのか？でも一旦職を解かれて4時半なので職を解かれて、地域の指導者として行っている。だから校務ではないと法整備とか色々な問題があります。特に指導はいいのですが、これから先、色々な大会に行かなければならなくなり、野球の大会は、佐賀や宮崎で大会があり、とんでもない暑い場所に行き引率をされるわけですが、地域クラブですから引率者は学校の先生ではなく地域クラブの指導者という立場で行わなければならず難しい話を聞き、「そうだろうなあ。」と思ったのですが一つずつ課題を潰していくしかないのですが、ともかくことの出発点を考えると理由の一部に先生方の部活動の指導の負担を減らすようにという部分もあったと思いますがその様な事を考えると、該当した先生で地域クラブの指導している人は負担も増えていく訳で、事故になっても補助されないという矛盾を抱えている状況でもあると考えております。やはり潰しながら進めていくしかないと思われます。

教育長 これからその辺のところもししっかりと整備していかなければならないと思います。でなければやり手がなくなってしまう。という感じがいたします。また色々と見聞きしたご意見等を頂いたらまた、教育委員会の方までお知らせ頂けたらありがたいと思っております。

部課長報告について

人権・男女共同参画課長

人権を守る集会について

詳細については来月の定例会になると思うのですが、この場をお借りしまして、お忙しい中ご出席いたしまして、大変ありがとうございました。おかげさまでトラブルもなく760人が観覧というあまりない事ですので、大変な事になると思ったのですが本当に素晴らしいオペレーションのおかげで無事開催することができました。その後、講師の IKKO さんのお話もだいぶ伸び伸びと本人のテンションがすごく上がったのか、次の日に早速代理店を通してですが、代理店の方にお礼の言葉があったという事がありました。すごく色々良くしてもらっ

て本当に良い講演で向こうにとってはイベントですが良い講演になったと思います。私自身はスケジュールで受付に行ったり、駐車場を見回ったり、買い出しに行ったりとその様な事をしていたので話をしっかりと聞くことは出来なかったのですが講師の IKKO さんがすごく軽妙に話をされたようなのですが自分が生い立ちとして、こういう言葉を投げつけられたりした時にとっても傷ついたというお話をされたと思います。私の事についてなのですが言葉を発した人にとっては大した言葉ではないのかもしれませんが受け取る側は非常に傷つくそう言った言葉がある。それが人権を傷つけてしまうのかという事が来ていただいた皆様にはお届けができたのではないかと思います。「そういうことを言わない。」「そういう事を相手はどう思うのだろう。」という気持ちを考えて頂けたのだらうと思います。最後に楽しくそういう話だけだとつまらないからと IKKO さんも言って頂いて、楽しいエンタメの時間が過ぎて頂いて、概ね好評で受け止めて頂いたのがありがたかったと思います。ありがとうございました。

教育長

私一番前で見ていましたがステージ上にモニターがあって五分押し、三十分押しと数字が出てくわけです。ここまでサービスしてくれているのかとモニターを見てしまいました。本当に良い学習会・市民集会だったと思っております。本当にスタッフの皆様方お疲れ様と思っております。ありがとうございました。参加させていただいて、本当にありがたかったです。すごくいい話であれだけ盛り上がり、感じたのがとてもいいことを言っているのですが、できれば聞いた話を小中学生に聞かせてあげたらと率直に思いました。どれも盛り上がり、内容も濃ければ小中学校の生徒も思い出に残るでしょうし、特に今どきの子供に刺さるのではと思います。出来ればテレビで流すとか出来ないのかと？ケーブルテレビとかで流すとか？

人権・男女共同参画課長

厳しくて、お写真を撮って頂いたと思うのですがそれも SNS に上げないようにとか内容については出さないようにしてほしいという事です。もったいないですね。子供さんにも中学生ぐらいの方には理解していただけるのではと思います。

委員

違う形でもそういうふうな感じでも小中学生参加型で行ってもとても良いのではと思いました。楽しかったです。ありがとうございました。

教育長

これから LGBT という事が小中学校にもその様なお子さんがおりますので本当にその様なところで大事にしていかなければならないと思っております。

【報告第 1 4 号】 行事の共催・後援について
質問なし

【報告第 1 5 号】 8 月の各課の行事予定について
－資料に基づき説明－

5 その他

(1) 【次回定例会の開催について】

－次回定例会日程（8/27）について－ （係長説明）

(2) その他

教育総務課長

千曲坂城クラブだよりについて

係長

教育委員会への寄附について

令和 7 年度新任教育委員研修会について

令和 7 年度更埴郡市教育委員会連絡協議会視察研修希望日調査について

保育課長

保育園の見学について

